

第38号議案

令和7年度使用中学校教科用図書採択について

上記の議案を提出する。

令和6年8月19日

提 出 者 文京区教育委員会

教育長 丹羽 恵玲奈

時 限 秘

教科書採択終了まで

**令和7年度より使用する
文京区立中学校教科用図書について**

令和7年度使用文京区立中学校教科用図書審議会

答 申

令和6年7月12日

国語

国語科の目標は、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することである。

東京書籍は、教材末に「てびき」があり、教材の読み方についての記述がある。古典教材は学年によっては豊富な教材が用意されている一方で、上級学年では脚注や解説の記述が少ない単元があり、生徒にとって難易度が高い教材もある。表紙絵はアニメ調であり、1年最初の単元は小学校の教科書と同様の活字サイズにするなど親しみやすい配慮がなされている。

三省堂は、表紙絵や挿絵がアニメ調になっており生徒にとって親しみやすいデザインとなっている。また、生徒が主体的に読む意欲を喚起する作品を取り上げられており、興味・関心を引く題材が設定されている。カリキュラム・マネジメントを想定した現代的な課題を多岐に取り上げ、ものの見方や考え方を広げる文章が教材化されている。

教育出版は、「学びナビ」によって学習の流れが詳細に示されており、指導者にとっても展開しやすく、学習者にとっても単元の見通しがもちやすい。漢詩の取扱いが3年生である点は、現行の教科書と重複する部分があることや補充が必要になる部分がある。表紙絵がアニメ調で親しみやすいが、挿絵が少なく、紙面にスペースが多く設けられている。

光村図書は、教材末にある「学びへの扉」が端的な記述になっており、生徒自身が身に付けるべき力に明確である。他教科との関連が図られており、カリキュラム・マネジメントがしやすい構成になっている。古典単元が1・2学期に分かれて配置されている点が螺旋的な指導をしやすい。動画や音声の視聴から始まる教材が提案され、言語生活の向上に配慮されている。

書 写

書写に関する事項においては、各教科等の学習活動や日常生活に生かすことのできる書写の能力を育成することが重要となる。特に、我が国の伝統的な文字文化を継承し、これからの社会に役立つ様々な文字文化に関する「知識及び技能」について理解し、文字を効果的に書くことができる力を育成することが大切である。

東京書籍は、扱う内容が豊富で、詳細に書かれている。「キャリア教育」や「防災教育」など、教科横断的な教材も多く取り上げられており、学校生活に生かせる工夫がなされている。「書写活用ブック」にはさまざまな書式が示されており生かしやすい。

三省堂は、色彩豊かな構成になっており、非常に明るく美しい紙面である。生徒にとって身近な題材を取り上げるなど、親しみやすい内容になっている。巻末に二次元コードの一覧が付いており、資料編がコンパクトにまとめられている。

教育出版は、硬筆と毛筆の関連を意識した構成になっている。唯一、教科書が変形横幅広サイズになっており、紙面が大きい分見開きを基本とした見やすく使いやすいレイアウトになっている。また、部首別の書体一覧など資料や補充教材が充実している。

光村図書は、手紙の書き方やフォント、お礼状などが教材として取り上げられており、生活に根差した学習になっていて実用的である。動画教材においても左利きの生徒にも扱いやすいように工夫されている。また、「書写ブック」などの資料が豊富で使いやすい。

社 会〔地理的分野〕

地理的分野の目標は、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することである。

東京書籍は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の量やレイアウトは適切であると考えられる。各章の始めで、生徒に探究の課題を提示し、学びに向かう力の育成を図る工夫やSDGsについて生徒を主体的に取り組ませることができるよう工夫がされている。本文と資料部分の色分けや他分野、他教科との関連を各ページで示すなど、視覚的な配慮がされている。

教育出版は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさやレイアウトは適切であると考えられる。現地の人々の声などの資料で生徒の興味・関心を引き出す工夫や既習事項を生かし、地理的な見方・考え方を働かせるような構成となっている。巻頭にSDGsに関するページの掲載や、ページ下に他ページとの関連を示すなどの工夫がされている。

帝国書院は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさやレイアウトは適切であると考えられる。巻頭で学習方法について詳細な説明の掲載や学習効果を高めるイラストを掲載するなど、興味・関心を引き出す工夫がされている。巻頭にSDGsに関するページの掲載や、ページ下に小学校や他分野、他教科との関連を示すなどの工夫がされている。

日本文教出版は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさは適切であると考えられる。地理的な見方・考え方を見開きで大まかにつかむ工夫や巻頭で地理的な見方・考え方について分かりやすく説明する工夫をしている。巻頭のSDGsに関する掲載や現地に住む人々の話が掲載されており、生徒が想像しやすい工夫がされている。

社 会〔歴史的分野〕

歴史的分野の目標は、社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することである。

東京書籍は、見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。各章の始めで生徒に探究の課題を提示し、学びに向かう力の育成を図る工夫や持続可能な社会、SDGs についての掲載、調査、考察の説明が詳細に掲載されている。また、本文と資料部分の色分けがなされ、視覚的な配慮がされている。

教育出版は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。導入で生徒が学習の見通しをもち、興味・関心を引き出すための工夫やSDGsを踏まえながら学習できる内容を巻末に掲載、小学校での既習内容や国宝、重要文化財の資料に気付かせる工夫がある。また、本文と資料部分が色分けされ、視覚的な配慮がされている。

帝国書院は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。地域調査を中心にした地理的な見方・考え方の育成を図る工夫やSDGsと歴史の関連を意識できるコラム、各章のまとめは地理的分野との関連付け、現在とのつながりが掲載されている。また、本文、資料、法律等の文章など色分けし、視覚的な配慮がされている。

山川出版は、見開きに網羅された画像、グラフ等の資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられ、本文が詳細で量が多く、歴史に興味・関心が高い生徒にとって良いと考えられる。用語量を豊富に扱い、知識の習得を図る工夫やSDGsについて、「ジェンダー平等」や「平和と公正」などの内容の掲載、各章のまとめでは課題を明示し、教科書に書き込む工夫がされている。

日本文教出版は、見開きに網羅された本文、画像、グラフ等の資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。学習課題に対応した資料で「節の問い」を解決させる工夫や人権についてのコラムを活用して生徒が考えるための工夫、資料の読み取りを通して、内容のまとまりで学習をすすめる工夫がされている。また、日本の様々な地域の事例の掲載や地理的分野との関連が示されている。

自由社は、各節の学習課題の文字サイズをやや小さく、画像を大きく掲載し、見開きごとに学習課題を示すなどとレイアウトを工夫している。節の附番が章ごとではなく、すべての通し番号で設定されており、日本の歴史の舞台について諸資料を基に探る構成になっている。また、諸外国との交流や国際環境等についても取り上げている。

育鵬社は、見開きに網羅された本文、画像等の資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。各章及び各単元の導入に問題提起となる発問を示す工夫や、各単元の導入で単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるような工夫、SDGs や現代社会での国際関係などの現代的な諸課題について掲載されている。

学び舎は、生徒の関心を引き出すために図版や記述で構成し、生徒が自ら感じ考える主体的な学びができるよう工夫されている。資料写真が本文にせり出している、本文に太字がない等という特徴がある。SDGs について「ジェンダー平等」や「平和と公正」などの内容を掲載したり、史料の取り扱いでは、実際に残っているそのままの文書を掲載したりしている。

令和図書は、本文は縦書きとなっており、資料を大きく掲載し、全編白黒で表記されている。また、本文が詳細で量が多く、歴史に興味・関心が高い生徒にとって良いと考えられる。神話の世界で本文が始まるという特色があり、様々な歴史的事象を詳細に記すなど、歴史的事実の確実な定着を図る工夫がされている。

社 会〔公民的分野〕

公民的分野の目標は、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することである。

東京書籍は、見開きに網羅された本文、資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。各章の学習を構造化し、学習の流れをとらえやすくする工夫や問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習が進めやすくなるよう工夫している。SDGsに関連しているページでは、「基本的人権の尊重」の部分で平等権や新しい人権を取り上げている。

教育出版は、見開きに網羅された本文、資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。日常生活や経験と関連する話題・内容を多く取り上げ、身近な生活と関わらせて学習内容が想起できるように工夫され、社会の変化や課題が反映された事象も取り上げている。SDGsに関連しているページでは、持続可能な社会について考察させる工夫がある。

帝国書院は、見開きに網羅された本文、資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。生徒の興味・関心を引き出し、効率よく資料の活用ができるように工夫し、問いが構造化され、単元のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」が実現できるような構成になっている。SDGsに関連するページでは、持続可能な社会について考察させる工夫がある。

日本文教出版は、見開きに網羅された本文、資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。学習に取り組みやすくなるよう学習内容と身近な生活を結び付けた漫画を掲載したり、現代社会の見方・考え方について各編の冒頭の本文ページで説明し、学習で活用したりできるよう工夫している。SDGsに関連するページでは、持続可能な社会について考察させる工夫がある。

自由社は、見開きのレイアウトで、図やグラフ等はあるが、空白が多く見られる。現代社会の諸課題に迫る学習課題を多く設定するとともに、各章で現代社会の見方・考え方を働かせる工夫がされている。節の附番が章ごとではなく、すべての通し番号で設定している特徴がある。SDGsに関連するページでは、持続可能な社会について考察させる工夫がある。

育鵬社は、見開きに網羅された本文、資料の大きさ、レイアウトは適切であると考えられる。生徒の生活経験と結び付きの強い身近な事例を取り上げ、興味・関心が高まるような工夫や各章の学びを生かし、現代社会の諸課題について考察を深められるような工夫がされている。巻頭や第5章のSDGsに関連するページでは、持続可能な社会について考察させる工夫がある。

社 会〔地図〕

社会科の目標は、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養うことである。

教科用図書「地図」については、地図の読図や作図、景観写真の読み取り、地域に関する情報の収集や処理などの地理的技能を身に付ける際に、十分に活用することが求められる。

東京書籍は、A4判の紙面により、1ページあたりの情報を充実させるとともに、社会科の学習をする際に必要な統計情報を豊富に掲載している。地理的分野の学習との連携を図るとともに、歴史的分野、公民的分野の学習とも連携した資料も掲載することで、中学校社会科の各分野の学習に活用でき、社会的事象を多面的・多角的に考察できるようにしている。SDGsなどの現代的な諸課題に関連する資料を掲載し、様々な課題についての理解を促している。

帝国書院は、A4判の紙面により、地域間の結び付きをよりとらえやすく工夫するとともに、巻末の世界の統計資料では、州別、項目別に色分けし、数値的に各国の特色や差異をとらえやすいように配慮されている。世界の地図、資料図から、世界に関する地理的認識を深められるよう、様々な地域の事象を掲載している。SDGsの視点で考察できるページや、地図・資料図のタイトル横に「SDGs アイコン」を設置している。

数 学

数学科の目標は、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力の育成を目指すことである。

東京書籍は、各章の初めが、身の回りの題材や生活場面の疑問を数学的に解釈して問題を解く構成になっており、興味を引く導入である。各章にある「深い学び」のページは、学習方法の過程が示されており、協働的に学べる。また、大切にしたい数学的な見方・考え方も示されている。デジタルコンテンツが豊富であり、生徒一人一人が使用する際に、個別最適な学びに適している。

大日本図書は、「考えよう」という問題の後に学習の「めあて」が示され、各章、各節とも必要感のある導入となっている。「社会にリンク」のページでは、様々な職業の人のインタビューが掲載されており、生徒が数学を学ぶことについて深く考えることができる。シミュレーションや説明の動画等のデジタルコンテンツがある。

学校図書は、各章や節の初めに、生活や数学の学習の中から疑問を発見するページがあり、主体的に疑問をもち学びに向かうことができる。巻末の「さらなる数学へ」は、社会の課題や日常生活との関連付けがあり、数学の有用性を認識することができる。アニメーションやシミュレーション等のデジタルコンテンツがある。

教育出版は、巻頭に「大切にしたい数学的な見方・考え方」のページがあり、前の学年で学習した内容を踏まえて数学的な見方・考え方を振り返り、深めることができる。巻末に「実力アップ問題」が用意されており、演習量を補うことができ、習熟の程度に応じて、個別最適な学びを図ることができる。デジタルコンテンツは、統計ツールやアニメーション等の動的ツールが豊富である。

啓林館は、各章、各節の初めに、生活や数学の学習の中から問題を取り上げており、言語活動を通して主体的に学習に取り組むことができる。巻末の「学びをいかそう」は、数学の有用性を知り新たな学びに向かう内容となっている。デジタルコンテンツに補充問題等を豊富に取り入れているため、生徒が主体的に取り組むことができる。また、教科書のページ数を削減できている。

数研出版は、各章の最初に「ふりかえり」のページが設けられており、既習事項の確認や新しい学習内容との関連付けができる構成になっている。章末の活用問題は、生徒にとって身近な問題を数学的に解決する内容となっている。デジタルコンテンツは、自由に操作しながら決まりを見いだしたり、結論を確かめたりすることができ、協働的な学びを行う際のツールとして使いやすい。

日本文教出版は、導入から小節への流れが明確で、対話を通して問題解決をする過程を示しており、生徒の対話を促すとともに、生徒が学び方を学ぶことができると考えられる。巻末の「社会と数学をつなぐコラム」は数学の有用性が分かる内容となっている。デジタルコンテンツは、搭載されたペンツールでの書き込みが可能で、協働的な学びとして活用できる。

理科

理科の目標は、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することである。

東京書籍は、巻頭に実験や観察をまとめるための手だてが示され、学習方法の基礎からしっかり学ぶことができる。図や写真は鮮やかで見やすく、豊富なデジタルコンテンツやコラムには生徒の関心をひくような工夫が見られる。また、学習を深めたり補足したりするものになっている。單元ごとに学習課題が明確に設定され、生徒の探究的な学びを促す構成である。

大日本図書は、教科書の大きさが小さい。図や写真の大きさが小さくなるが、授業の中で扱いやすい大きさである。探究的な学びや協働的な学習を促すトピックが随所にあり、実験・観察数も多い。生徒の体験が重視された構成である。單元末には、用語整理から読解力問題までが段階的に示され、自身の課題に合わせて復習できる構成である。

学校図書は、学習内容が詳細に文章化され、細かく解説されているため、児童が参考書のように知識をまとめることができる構成になっている。また、各単元で「学びのあしあと」「ふり返り」「CAN-DO List」と示すことで、既習事項や学習目標が明確に示され、生徒が目標をもって取り組むことができる構成である。

教育出版は、重要語句が赤文字で示されているため、生徒が赤いシートで文字を隠して復習することができる。單元の中で、「学習前の私」「学習後の私」という項目が設けられ、学習前後の変化を考えさせる構成になっている。結論は統一されたデザインで分かりやすく、詳細に文章化されていることで生徒が学習のまとめをしやすい。

啓林館は、「探Q実験」で実験方法を自分たちで考えるなど、生徒の主体的な学習を重視した構成となっている。実験・観察の数や章末問題の数が豊富で、総ページ数も多くなっている。また、デジタルコンテンツが豊富で、実験の中にICTを取り入れるなど、生徒が興味・関心をもって学習に参加できるようになっている。

音 楽〔一般〕

音楽科の目標は、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することである。

教育出版は、学習マップでは、領域・分野ごとにまとめられており、視覚的に理解しやすいので、見通しをもって学習に取り組むことができる。教材ごとにねらいが記載されていたり、楽器や演奏者の写真が大きく、解説等もカラーで示されていたりするなど、生徒が視覚的にも理解しやすい。また、動画や音源を視聴できるデジタルコンテンツもある。

教育芸術社は、思考力・判断力・表現力、知識、技能の3つに分けてねらいが明記されているとともに、各教材に含まれる音楽を形作っている要素が記載されている。題材ごとの考えたいポイントが教材名の横に例示してあることで、生徒主体の問題解決学習が展開できる構成になっている。デジタルコンテンツが豊富で、視聴だけでなく、歌唱や合唱など個人練習を進めることができる。

音 楽〔器楽〕

音楽科の目標は、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することである。

教育出版は、和太鼓の演奏法の資料が写真付きで多く掲載されており、生徒が理解しやすい内容となっている。箏の教材には、押し手の具体的な写真や様々な演奏法の写真などが大きく掲載され、視覚的に分かりやすい。三味線の教材には、基本的な演奏法として3種類の演奏法が紹介されており、演奏法の違いによる音色の変化や表現の工夫に迫ることができる。

教育芸術社は、リコーダーの演奏法について、アーティキュレーションについての説明が具体的で、生徒が理解しやすい。箏のページには、さまざまな演奏法の具体的な写真が大きく掲載されている。各楽器の特徴を知るための鑑賞曲が掲載されているため、生徒が楽器の特徴をつかんで表現の工夫を考えることができる。

美術

美術科の目標は、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成を目指すことである。

開隆堂出版は、表紙の印刷がエンボス加工されており、触覚的に驚きがある。現代の新しい作品や生徒にとって身近な作家や作品を積極的に取り入れているため、興味・関心を高める構成になっている。單元ごとにデジタルコンテンツが付いており、学習内容の説明や生徒作品による参考作品、ワークシートが示されている。生徒が教科書を活用して振り返ったり、授業の内容を補足したりすることができる。

光村図書は、紙質を変えているページやゲルニカの作品の大きさを体感できるページがあるなど、触覚的・視覚的に分かりやすい。「最後の晚餐」の展示空間の360°写真や色光、色料の「三原色」を自分で動かして体験できるデジタルコンテンツがあり、生徒が理解しやすい。作者へのインタビューが書いてあるページが豊富にあり、作者の意図や作品への思いを理解しながら、学習に取り組むことができる。

日本文教出版は、大きく、見やすい写真や單元のはじめや導入に活用できる鑑賞のデジタルコンテンツがあるなど、生徒が視覚的に理解できる工夫がある。掲載している動画が2～3分程度にまとめられているため、生徒が短時間で学習内容を理解できる。教科書を3分冊にすることで、生徒の持ち帰りの負担を軽減することや、教員が学年や発達段階に応じて題材や目標を設定することができる。

保健体育

保健体育科の目標は、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することである。

東京書籍は、「見つける」「学習課題」「課題の解決」「活用する」「広げる」の構成となっており学びやすい。各章に豊富で充実したデジタルコンテンツがあり、学習を深め、広げやすい。「活用する」は記述だけでなく、伝え合う内容もあり、主体的・対話的で深い学びができる。資料の図や写真が分かりやすく見やすい。豊富で多様な内容となっており、分量なども適切である。

大日本図書は、「学習のねらい」「つかもう」「やってみよう」または「話し合ってみよう」の構成になっている。「やってみよう・話し合ってみよう」のコーナーは、調べる・話し合い・記述等、各章の内容に応じた学習活動に工夫されている。構成が見開きで左ページに本文、右ページに資料で統一されており、視覚的に捉えやすい。また、資料やデータ、挿絵が豊富で見やすい。

大修館書店は、「課題をつかむ」「きょうの学習」「学習のまとめ」の構成になっている。各ページの最後には関連する「クイズ」のデジタルコンテンツがあり、楽しく学習を振り返ることができる。コラムや資料も充実している。章のまとめでは、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点ごとに振り返りができる内容となっている。

学研は、「課題の発見」「学習課題」「課題の解決」「学びの活用」の構成になっている。「課題の発見」では、多様な授業の導入ができるように工夫されている。「学びの活用」の内容は、主体的に学習に取り組む態度を育成するのに最適である。各単元の初めに、学びたいことを表現する欄があり、生徒の興味・関心を高めている。文章が多く、詳しく説明している。

技術・家庭〔技術分野〕

技術分野の目標は、技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成を目指すことである。

東京書籍は、問題解決の過程の中で、生徒の身近な生活や環境に関連付けた構成になっていて、身の回りの技術や材料の「最適化」について重点的にまとめられている。また、学習に関する図やデジタルコンテンツが豊富であり、生徒がそれぞれの課題に応じて学習を進めたり、授業の補助資料として扱ったりしやすいものである。

教育図書は、別冊で「スキルアシスト」が付属しており、実習における基礎技能が図説でまとめられている。また、実習における作業手順や安全面に関する記述が詳細で、実習例も豊富に記載されている。単元の構成は、3観点に準じたものであり、学習の基礎内容に触れて問題解決に取り組む標準的なものである。

開隆堂出版は、単元の初めに学習目標、終わりにCHECK欄が設けられており、生徒が教科書に沿って学習することで、一人でも課題解決ができる構成になっている。また、各単元において、生徒の身近な生活に関わる問題について意図的に取り上げられている。実習や基礎技能については、簡素にまとめられている。

技術・家庭〔家庭分野〕

家庭分野の目標は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することである。

東京書籍は、基礎縫いの手元写真や手順書などが大きく鮮明に表示されたり、食材の写真が実物大で掲載されたりするなど、学習の補助資料が大きく掲載され、生徒にとって扱いやすく、分かりやすいものである。また、デジタルコンテンツが豊富であり、直感的な操作で活用できるよう工夫がされている。単元の構成は、生徒が学習した内容を深めたり意見交換したりできる工夫がある。

教育図書は、実習の手順や機器の扱い方の説明において、写真より文章での説明に重点が置かれ、詳細に記載されている。単元の構成は、学習の流れが明確になっている。イラストを多く配置したり、学習シールを付属したりするなど、生徒の関心を引くものとなっている。また、金融や消費者教育に関する項目が充実している。

開隆堂出版は、デジタルコンテンツは実習や学習内容の資料となるものが中心で豊富である。単元の構成は、学習内容より「参考」や「先輩からのエール」など学習に関連したコラムに重点が置かれ、生徒が多角的に考えることのできるものとなっている。また、実習題材は基礎的な内容が丁寧に示され、分かりやすい。

外国語

外国語の目標は、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指すことである。

東京書籍は、各単元の学習の流れが、短い本文で単元の重要な文法を学び、その後、まとまった分量の本文を読む力や考える力、表現する力を身に付けられる構成となっている。発表につながりやすい題材を取り扱っている。"Real Life English" では、日常生活に関わる場面での自己発信や意見交流を学ぶことができる。デジタルコンテンツが充実しており、"Digital Map" は、世界各国に関する知識や関心を高め、単元の学習や発表などに活用できる。

開隆堂は、"Scenes"として、各単元の始めに、新しく学習する英語表現や文法を漫画で導入するなど、文法を学んでから本文を読む構成になっている。生徒にとって親しみやすい2コマ漫画やユーモアあふれるストーリー展開等、導入が工夫されている。"Small Talk"がページの左下に多くあり、帯活動として対話に取り組みやすい。デジタルコンテンツは、各単元のScenesやPart (本文)の内容がシンプルにまとまっている。

三省堂は、各単元のScene1はリスニングとなっており、まずは英語を「きく」ことから単元の内容に入り、その後、やや短めの英文を使い学習する構成になっている。"Small Talk" や "Exercise" など、ほぼすべてのページに表現活動が含まれている。デジタルコンテンツに、AIが自分の発音を採点してくれる"発音チェック"の機能があり、生徒の自主学習につながる。"For Self-Study" や "Audio Script" などのページがあり、自学の仕方が多く紹介されている。

教育出版は、各単元の"Part"で多様な英文にふれ文法等を学び、"Task"と"Grammar"にて、本文の内容や言語材料を重層的に理解する構成になっている。文法をまとめている"Let's Use"のページの二次元コードから、ネイティブスピーカーによる分かりやすい文法解説の動画があり、言語使用場面をふまえて確認することができる。学びを補強するコンテンツとして、様々な題材の読み物教材があり、長文読解の力を伸ばすのに適している。

光村図書は、主教材のストーリーに沿って、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動をバランスよく学習できる。3年間を通じて中学生の生活に寄り添った親しみやすいストーリーがあり、生徒が主体的に学ぼうとする意欲をかきたてる構成になっている。小教材である"Daily Life"には、電話対応やレストランでの注文など実際の場面をイメージしやすい題材や視覚資料が使われている。デジタルコンテンツや英語の学び方ガイド等の巻末付録も充実している。

啓林館は、"Part"、"Read/Listen & Think"、"Think & Speak/Write"といったページが豊富に用意され、スモールステップを重ねて自分の考えや気持ちを整理して表現できるような構成になっている。各Partの左側のページ上部にある"Enjoy Chatting"では、本文の内容に即したスモールトークが展開できる。デジタルコンテンツのTarget解説動画は、教科書の本文を使って各文法の説明をする工夫がなされており、一人でも学習しやすくなっている。

特別の教科 道徳

道徳科の目標は、道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることである。

東京書籍は、動画を活用するなど文章を読むことが苦手な生徒も意欲的に取り組めるような工夫がある。道徳の授業で長く扱われていた定番教材が多く、各題材に明記されている「考えよう」「見つめよう」の発問により、生徒は自分自身のよりよい生き方を考えやすく、コラムではアンガーマネジメントなどのソーシャルスキルを養うような題材を扱う工夫が見られる。

教育出版は、学習者用端末から心情メータを操作することができ、生徒の学びをサポートする工夫がある。また、様々な考えを出し合う問題解決の手法や、生徒がその立場を演じる役割演技、生徒が教科書に直接書き込むなどの多様な学び方を紹介している。合理的配慮や性の多様性など道徳性に基づいた人権感覚を養う教材を取り扱っている。

光村図書は、教科書の紙質が良く、コントラストが良いので、文が読みやすい。また、朗読音声は生徒が知っていると思われる有名な声優によるもので学習意欲の向上が図られる。一つのテーマを連続して扱うことができる教材の配置や小学校で学んだ道徳の教材を学び直すページがあり、生徒は自分自身の考えの変化や学びを深めることができる。

日本文教出版は、付属でついている道徳ノートは生徒が道徳で学んだことを振り返りやすく、各教材末の「考えよう」「自分に+1」の発問により、自分自身のより良い生き方を考えやすい。また、人権についての学びのページがあり、世界人権宣言から子どもの権利について分かりやすく明記されている。時期を考慮し、複数回にわたっていじめに関わる題材が配置されている。

学研は、「いのちの教育」や「いじめ防止」など一つのテーマの教材が連続して配置されているため、同時期に何度も同じテーマを取り扱うことになり、生徒の学びを深めることができるようになっている。生徒の興味を惹く漫画の教材や全学年で性の多様性が意識できる教材など、生徒の主体的に学ぼうとする工夫が見られる。

あかつきは、教科書のサイズが生徒にとって扱いやすいサイズであり、またUDフォントも採用しているので文字が見やすい。道徳の授業で長く使用されてきた教材が豊富であり、一つのテーマを連続して考える教材の配置であるため、同時期に何度も同じテーマを取り扱うことになり、生徒の学びを深める授業展開ができる。

日本教科書は、ダイバーシティ、LGBTQなど現代的な課題のトピックを取り上げており、生徒の多様な学びを提供している。定番教材が少なく、教員は新しい視点で授業計画を作成することになる。付属しているウェルビーイングカードを活用することで生徒が考える手掛かりになったり、議論しやすくなったりする。

令和7年度使用中学校教科用図書 種目別発行者一覧

	種 目															
	国 語		社 会				数 学	理 科	音 楽		美 術	保 健	技 術・家 庭		外 国 語	道 徳
	国 語	書 写	地理的分野	歴史的分野	公民的分野	地 図			一 般	器 楽 合 奏			技 術 分 野	家 庭 分 野		
発 行 者	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	17 教育出版	17 教育出版	9 開隆堂出版	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	2 東京書籍	
	15 三省堂	15 三省堂	17 教育出版	17 教育出版	17 教育出版	46 帝国書院	4 大日本図書	4 大日本図書	27 教育芸術社	27 教育芸術社	38 光村図書	4 大日本図書	6 教育図書	6 教育図書	9 開隆堂出版	17 教育出版
	17 教育出版	17 教育出版	46 帝国書院	46 帝国書院	46 帝国書院		11 学校図書	11 学校図書			116 日本文教出版	50 大修館	9 開隆堂出版	9 開隆堂出版	15 三省堂	38 光村図書
	38 光村図書	38 光村図書	116 日本文教出版	81 山川出版	116 日本文教出版		17 教育出版	17 教育出版				224 学研			17 教育出版	116 日本文教出版
				116 日本文教出版	225 自由社		61 啓林館	61 啓林館							38 光村図書	224 学研
				225 自由社	227 育麟社		104 数研出版								61 啓林館	232 あかつき
数	4	4	4	9	6	2	7	5	2	2	3	4	3	3	6	7
				227 育麟社			116 日本文教出版									233 日本教科書

※ 数字は発行者番号(着色は現行採択発行者)

令和7年度使用中学校教科用図書審議会 委員名簿

	氏 名	備 考
区民委員	浅野 由美子	区民委員(中学校PTA会長)
区民委員	諸石 智彦	区民委員(中学校PTA会長)
公募	大井 明彦	区民委員
公募	八木 章雄	区民委員
第六中学校長	田中 繁広	学校関係者
第八中学校長	土井 佳奈	学校関係者
第十中学校長	南 英昭	学校関係者
茗台中学校長	今野 稔恵	学校関係者
教育推進部教育指導課長	山岸 健	教育委員会関係者委員